

## ■編集後記

本年2018年に韓国ピョンチャンで行われた冬季オリンピックにおいて、日本は1998年の長野オリンピックで獲得した金5個、銀1個、銅4個を総数で上回る金4個、銀5個、銅4個のメダルを獲得した。金メダルはスピードスケート女子500mに出場した小平奈緒選手、スピードスケート女子チームパシュートの高木美帆選手、高木菜那選手、佐藤綾乃選手、菊池彩花選手、スピードスケート女子マススタートに出場した高木菜那選手、フィギュアスケート男子シングルの羽生結弦選手であった。

これらの金メダルは世界に大きな感動をもたらす、たいへん美しいものであった。ひき続き行われるパラリンピックにおいても多くのメダルの獲得が期待される。

皆様のご協力をもちまして、本年も愛知大学体育学論叢を発行することができました。

たいへんありがとうございました。

滝沢宏人（編集責任者）

### 愛知大学体育学論叢 第25号

2018年3月25日 印刷

2018年3月31日 発行

発行責任者 滝 沢 宏 人

発行所 愛知大学体育研究室  
〒441-8522 豊橋市町畑町1の1  
TEL. (0532)47-4180 内線1405

印刷所 株式会社 荒川印刷